

学校教育目標

自ら学ぶ意欲と豊かな人間性を持ち、心身ともにたくましく生きる藤ノ森の子

- ・自ら学ぶ意欲 … 自分の目標を自分で決め、進んで学ぼうとする
- ・豊かな人間性 … 人間関係の多様性を認め、つながることができる
- ・たくましく生きる…自尊感情を高め、自己実現を可能にする

＜目指す子ども像＞

○すすんで勉強する子（研究部）

○かぎりなくやさしい子（人権教育推進部）

○だれとでもつながる子（生徒指導部）

○しなやかで元気な子（保健安全部）

授業で力をつける

- ・対話が生まれる授業の実践
- ・授業スタイルのスタンダード化

カリキュラムマネジメント

家庭学習の充実

- ・学習予定表の有効活用

キャリア教育

確かな人権感覚を育む

- ・人権教育
 - ・支援の必要な子どもへの関わり
 - ・特別の教科 道徳
- 多様性へのアプローチ
- ・L G B T
 - ・異文化交流

確かな規範意識

- ・藤ノ森スタンダード
- ・縦横のつながり
- ・たてわり活動・ピアサポート
- ・6年生がめざすモデルに
- ・学年経営

体育科の充実

- ・基本的生活習慣の確立
- ・生涯体育をめざして

保健の充実

- ・性教育
 - ・体、心の健康
- 安全指導の充実

学校保健・安全研究
実践助成校指定

＜目指す教職員像＞

子どもの未来を切り開く教育職人集団

進化する教育の実践者

- 子どもの手本（言動と行動）
- 学び続ける教職員
- 想像力豊かな教職員
- 組織・社会の一員として「つながる」教職員
- セルフマネジメントできる教職員

＜目指す学校像＞

子どもを育てる具体的な取組がある学校

- 全教育活動が「研究」「研鑽」の場
 - 児童・教職員共に人権感覚と社会性の育成の場
 - 家庭・地域と協働する
- 「コミュニティースクール」としての場

今年度の藤ノ森教育の重点

- 授業改善…授業こそ学校教育の核。すべてのエネルギーのベクトルは授業に向かう。
- 子どもの自主性・主体性・積極性を育てる。
- 保護者・地域とのさらなる連携を図る。
- すべての教育活動で「めあて」「ふりかえり」「改善」
- 子どもの手本となる大人に（言葉、みだしなみ、時間・約束を守る）
- 子ども、保護者の思いを十分に聞く。
- すべての教育活動は「めざす子ども像」に向かう。

すべては藤ノ森の
子どものために